

『 処 暑 便 り 』

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

今年度の研修講座事業もいよいよ後半に入っております。今年度の研修講座の特徴としましては、第一に講座担当の講師陣が大変意欲的で、自分の実践を受講者に伝わるように講義・演習をされているのが印象的であります。第二にアンケートの記述から、受講者の姿勢が非常に前向きであるということがあげられます。その幾つかを紹介したいと思います。

- 「最初から最後まで頭の回転を止めるひまのない講座でした。演習形式は最初は戸惑いでしたが、緊張感もあり、とても楽しく充実しました」
(学校事務)
- 「まず、自分の苦手意識をなくして、楽しく子ども達と外国語活動をしていくことが大切だと思ったので、そこから改善していきたいです」
(外国語・外国語活動 初級)
- 「研修報告を書き、全職員に還元していきます。校内の外国語研修に役立っています」
(外国語・外国語活動 中級)
- 「講座に参加することで、新しい人間関係ができました。人脈は財産です。ありがとうございます」
(特別支援教育)
- 「普段、一人しか学校にいない教科で、なかなか理解や共感を得られずいたが、同じ悩みをもつ先生方と情報を共有できた」
(音楽科)
- 「夏季休業中の研修が見直されていく頃だと思います。次年度以降の開催時期、検討を願います。効率的に行えば、半日日程でできると考えます」
(学校経営Ⅰ)
- 「夏季休業中のこの講座は参加しやすく、大変勉強になります。同職の先生方と本音で話せる機会は少ないので、本講座はスキルアップは勿論、情報交流と言う意味合いからもとても大切であると思った」
(学校経営Ⅱ)
- 「今は数学から離れていますが、久しぶりに算数・数学の授業を参観、数学に触れることができ、楽しかったです。今すぐ真似できないこともありますが、発問の工夫や生徒が主になる授業など他教科(特支)でもできることをやっていきたいと思います」
(数学科)
- 「理科の先生方とお話できてよかったです。またいろいろな場面で使わせて頂きたいと思います。理科、本当に楽しいなと感じた日でした」
(理科)